

令和4年度

大野市の移住への取り組み

現状と課題について

令和4年8月18日

大野市地域づくり部地域文化課

目次

1. 移住に関する用語
2. 福井県内の移住の動向
3. 大野市の移住の動向
4. 主な移住・定住支援策
5. 移住・定住の現状と課題

移住に関する用語について

I ターン

生まれ育った故郷から進学や就職を機に他の地域に移住すること

J ターン

生まれ育った故郷から進学や就職を機に都会へ移住した後、故郷に近い都市に移住すること

U ターン

生まれ育った故郷から進学や就職を機に都会へ移住した後、再び故郷に移住すること

行政が指す移住者とは？

福井県の定義

県や県内市町の移住支援策を活用して県内に移住した人

大野市の定義

移住相談窓口や移住支援策（移住支援金や住宅取得補助、空き家情報バンクの利用等）を活用して市内に移住（定住）した人

福井県内の移住の動向について

令和3年度の福井県内移住者

統計開始以来最多の1018人が移住

県内への移住者は2年連続で1000人超え

Iターン世帯の移住者が約6割

614世帯が移住し、うち約6割がIターンで年々増加傾向
(R1は約4割、R2は約5割、R3は約6割)

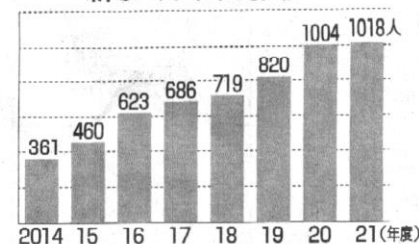
20～30代の移住者が約6割

子育て世代に当たる20～30代を合わせた移住者が約6割

関東圏からの移住者が約3.5割

移住者1018人中、324人が関東圏からの移住

新ふくい人の推移



県内へのU・Iターン世帯数



県と県内市町の支援制度を活用し、2021年度に県内に移住した人は、614世帯1018人となった。2年連続で千人を超え、集計を始めた07年度以降で最も多かった。県は新型コロナウイルス感染症拡大によりテレワークが広がり、地方移住への関心が高まったことに加え、市町が相談、支援体制を拡充したことが要因とみている。

(武居哲)

Iターン世帯6割

21年度 県と市町の支援活用

県は自治体の支援を受けてU・Iターンした人を「新ふくい人」として集計している。21年度はIターンが387世帯で前年度より89世帯増え、全体の6割を占めた。世代別では子育て世代に当たる20代と30代が多く、計599人だった。

地域別では昨年同様、関東が最多の354人で、7年前の約3倍に増加。関西278人、中京136人と続き、三大都市圏で全体の8割近くに達した。20、30代の移住が多い理由について県定住交流課の担当者「は、全国トップクラスを誇る子どもの学力・体力や待

県内移住1018人過去最多

令和3年度の県内移住者（1018人）のうち、市別の県外からの移住者内訳

市名	人口（人）	移住人数（人）	移住者数比	Uターン（人）	Iターン（人）
福井市	260,082	433	0.17%	106	327
越前市	82,133	121	0.15%	48	73
鯖江市	69,373	91	0.13%	16	75
あわら市	27,343	74	0.27%	15	59
坂井市	90,148	58	0.06%	30	28
大野市	31,779	41	0.13%	18	23
敦賀市	64,425	38	0.06%	11	27
勝山市	22,252	28	0.13%	8	20
小浜市	28,672	12	0.04%	3	9

※移住人数は県＋市が支援して移住された方の数

大野市の移住の動向について

令和3年度の大野市移住実績

- R3は17世帯33人に移住支援
- うちIターンは8世帯11人
- うちUターンは9世帯22人
- 移住実績は増加傾向のものの転出超過も増加傾向

単位：人

年度	H30	R1	R2	R3
移住人数	23	7	19	33
移住世帯	7	3	13	17
世帯）三大都市圏	2	1	9	12
世帯）県内	5	2	3	3
世帯）その他	0	0	1	2
※転入人数	758	771	555	545
※転出人数	916	999	825	859
※転出超過人数	158	228	270	314

令和3年度の移住相談件数

- R3は134件の移住相談
- 134件中、81件は市外からの相談
- 相談件数の最多は住居探し
- 助成金の相談件数が大きく増加

単位：件

年度	H30	R1	R2	R3
複数内容	62	19	24	15
住居探し	1	6	51	39
助成金	1	0	12	39
資料請求	3	0	1	2
空き家登録	31	31	17	35
その他	4	11	10	4
合計	102	67	115	134

市民生活・統計課窓口で大野に来られた転入者の方にアンケート調査を実施しました。

転入者アンケート結果

39歳以下の回答者が79%

世代別では20代が最多で36%

転入前の住まいの1位は県内

1位は県内（48%）、2位は東京都（7%）、3位は神奈川県（7%）、4位以降は石川県、京都府、大阪府が続く

転入のきっかけの1位は就職・転職

1位は就職・転職（44%）、2位が家族との同居（21%）、3位が転勤（18%）

転入先の決めて（重視している点）1位は家族との同居

1位は家族との同居（42%）、2位は勤務地が近いこと（17%）、3位は自然が豊かなこと（14%）

転入者アンケート

大野市では、より良いまちをつくるため、大野市に転入されてきた方にアンケート調査を実施しています。お手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

記入日：令和 年 月 日

(1) 転入される方の性別、人数・年齢を教えてください

No.	年齢	男	女
1	10代未満	人	人
2	10代	人	人
3	20代	人	人
4	30代	人	人

No.	年齢	男	女
5	40代	人	人
6	50代	人	人
7	60代	人	人
8	70代以上	人	人

転入者アンケート

実施期間：R3.7～R4.6の1年間
回答者：160人（119世帯）
内訳：男性50%、女性50%
単身85%、世帯15%
Iターン36%、Uターン58%

(7) 大野市への滞在期間の予定はどれくらいですか？

1	1年未満
2	2年～5年未満
3	5年以上
4	決まっていない

ご協力ありがとうございました。
大野市地域づくり部 地域文化課
大野市役所2階 24番窓口

市民生活・統計課で大野から離れる転出者の方にアンケート調査を実施しました。

転出者アンケート結果

39歳以下の回答者が78%

世代別では20代が最多で43%

転出後の住まいの1位は県内

1位は県内（59%）、2位は愛知県（6%）、3位は大阪府（4%）、4位以降は石川県、京都府、東京都が続く

転出のきっかけの1位は就職・転職

1位は就職・転職（30%）、2位が結婚（25%）、3位が転勤（12%）

転出先の決めて（重視している点）1位は勤務地が近い

1位は勤務地が近いこと（33%）、2位は家族との同居（20%）、3位は商業施設が充実していること（10%）

転出者アンケート

大野市では、より良いまちをつくるため、大野市外に転出される方にアンケート調査を実施しています。お手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

記入日：令和 年 月 日

(1) 転出される方の性別、人数・年齢を教えてください

No.	年齢	男	女
1	10代未満	人	人
2	10代	人	人
3	20代	人	人
4	30代	人	人

No.	年齢	男	女
5	40代	人	人
6	50代	人	人
7	60代	人	人
8	70代以上	人	人

(2)

(4)

転出者アンケート

(5) 実施期間：R3.7～R4.6の1年間

(5) 回答者：218人（191世帯）

(5) 内訳：男性44%、女性56%

(5) 単身92%、世帯8%

(6) 大野に家族や親族がいる77%、いない23%

(7) 今後、大野市に戻ってくる可能性はありますか？

1	大いにある
2	場合によってはある
3	今のところない

ご協力ありがとうございました。
大野市地域づくり部 地域文化課
大野市役所2階 24番窓口

大野市の主な移住・定住支援策について

大野市が目指す姿（ミッション）



「大野に住みたい、住み続けたい」という人が増え、
移住者を受け入れられる環境が整ったまち

そのようなまちづくりを目指しています。そのために、
新しく大野に住みたい人、また帰ってきたい人を積極的に受け入れる
ための支援に、取り組んでいます。

▶ 移住相談窓口の開設

- ・市外の移住希望者からの問い合わせに対応するため、庁内組織を設置
- ・移住体験プログラムやワークステイ等の体験・案内を提供

▶ 就職活動に対する支援

- ・移住就職等支援金の支給
- ・大野出身者が大野に住むために行う就職活動費用（交通費）を助成

▶ 住まい確保への支援

- ・空き家情報バンクによる中古物件情報の提供
- ・移住者の住宅取得、リフォーム工事費用を補助

▶ 移住情報の発信

- ・移住定住応援サイトを開設し、移住に関する情報を発信
- ・施策をパッケージ化し、支援策を見える化



移住体験プログラム



移住定住応援サイト

市では平成20年度より、移住定住を希望する人や移住した人をサポートするための大野市役所内に専門チームを立ち上げています。

令和4年度 越前おおのIJU（移住）サポートチーム											
大野公共職業安定所	健康長寿課	観光交流課	産業政策課	農業林業振興課	交通住宅まちづくり課	防災防犯課	こども支援課	政策推進課	地域おこし協力隊（空き家利活用）	奥越前まんまるサイト	地域文化課



各機関・個人との連携

福井県（定住交流課）

福井暮らしはたらくサポートセンター

福井県移住サポーター

ふるさと回帰支援センター

各関係機関

移住体験プログラム（現地案内）

オオノグラシ あなたの 見たい・知りたい お任せあれ！

先着移住者との交流 地元の方との交流 市の制度や補助の説明

空き家の紹介 教育施設の見学

Custom Made

移住相談

あなた仕立ての

大野は盆地で、夏は暑くて冬は寒い。冬はよく雪が降る、屋根雪もいっぺんはかなあかんし大変なやつ。でもそのおかげで水がうまいで、ほかのものもうまいんやぞ。ほんな田舎に移住したいっておもとんなら、いつでも案内するし、相談にも乗るで、いっぺん連絡してやあ。

他にも、
教育施設、スーパーやドラッグストアの見学、趣味や興味関心、お仕事など、
あなたのライフスタイルに沿って、
人や場所をご案内します！

■実施日時 **いつでもOK!**

■場 所 **福井県大野市**

■対応日数 1日～2泊3日 程度

■申し込み 現地相談・見学の一カ月ほど前

■対 象 移住に興味関心・検討中の方

■1回定員 1組～2組

■参加費 無料（現地までの交通費・飲食・宿泊費用等は参加者実費負担）

お申込みはコチラ！

または裏面の申込書を送付（メール・FAXでもOK）

実施までの流れ

お申し込み → 日時や内容等を調整・準備 → 当日元気な顔で大野に来る → よかったの～

移住者交流会



参加者からの声

- 大野に溶け込めているのか不安に思う時があったが、同じように市外から移住して来た方の話を聞いて、「最初は誰でも戸惑ったり悩んだりするんだな」と安心。いろんな人と交流し大野に馴染んでいきたい。
- 参加した皆さんと話していると仲間が集まっているような気持ちになった。楽しい時を過ごすことが出来嬉しかった。



お問い合わせ

奥越前まんまるサイト

検索

〒912-0131 福井県大野市南六呂師169-124 大野市委託業務
TEL/Fax 0779-67-1117 Email: ono.iju@goo.jp

移住支援金事業（東京圏型・全国型） ※令和4年度 支援金をアップ

直近3年間以上県外に居住し、県内の企業に就職（または起業）した方に移住支援金を支給

【支給額】東京圏型：最大100万円＋α 全国型：最大20万円＋加算金

大野へかえろう就職活動交通費支援事業 ※令和4年度 要件を緩和

県外に居住しているUターン希望者（20～49歳）に、市内で就職活動するための交通費を補助

【補助額】最大1万4000円（年度内に2回まで交付）

女性U・Iターン就職者応援補助金

過去2年以上市外に居住する女性（18～35歳）で、市内でU・Iターン就職する人に引越し費用を補助

【補助額】最大30万円

移住支援金（全国型）では、以下の認定企業に就業することで支給額がアップします。

■ 子育て世代にやさしい企業

子育てと仕事が両立できる職場環境づくりを行っている企業を「大野市子育て世代にやさしい企業」として認定しています。

● 取り組みの一例

- ・仕事と子育てが両立できるよう、時差出勤 や短時間勤務を導入！
- ・入学式や卒業式など、子どもの行事に年 次有給休暇の取得を促進！



これまでの認定
22 社

■ 働く人にやさしい企業

働きやすい職場づくりに取り組む企業を「大野市働く人にやさしい企業」として認定しています。

● 取り組みの一例

- ・リアルタイムで管理できる労務システムを 導入し、従業員の年次有給休暇の取得を 促進！
- ・会議数の見直しや事務所のレイアウト変更により、業務を効率化！



これまでの認定
23 社

売却・賃借が可能な市内にある「空き家」の情報を所有者から募集し、その物件情報を市のホームページ等で広く紹介する制度です。

令和3年度の空き家バンクの実績

年度	H30	R1	R2	R3
空き家登録数	6	8	7	13
空き家成約数	9	3	5	5

R 3 は過去最多となる13件を登録

制度開始からR 3 までに69件を登録し、43件が成約済み

移住定住応援サイトで物件を紹介

No. 66  徒歩圏内にコンビニ、ドラッグストア、スーパーがあり、便利な新築の住宅 賃借 7万円/月額	No. 68  満点の景が輝く元民家の住宅 売却 800万円	No. 67  まちなかにも元家 異色の住宅 売却 330万円	No. 65  あたりを田んぼに囲まれた下層の住宅 売却 530万円
No. 64  最高の景観、南六呂師の住宅 売却 650万円	No. 60  下麻生場の住宅 売却 300万円	No. 59  閑静な住宅街の角地に立地。鉄骨造の広々3階建住宅 売却 2500万円	No. 56  1キロ圏内に生活利便施設がそろった好立地 売却 120万円
No. 54  まちなかのレトロなおうち 売却 650万円	No. 47  高級感たっぷりモダンな住まいです 売却 3200万円	No. 46  上庄地区にある郊外の大きな住宅 売却 400万円	No. 43  大聖市無観賞を受賞した古民家 売却 1500万円



国時団地（大野市国時町701番地）RC造（昭和62年築）

（１）入居対象者

移住体験又は研究等による１年以内の
短期滞在者で 市長が特に必要と認める方

（２）入居期間

- ①間取り3DKで３戸（501・502・403号室）
- ②最低１カ月、最大１年間

（３）家賃

37,700円/月

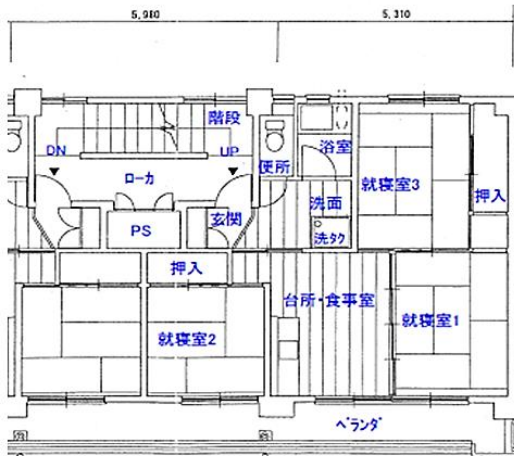
（別途、駐車場代1台につき3000円/月）

※ 電気・ガス・水道代は入居者負担

（４）その他

連帯保証人が必要

住戸内平面図



【3DK・53㎡/戸】

室内の設備も充実しています
（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、
給湯器、エアコン等）



暮らし住まい支援事業 ※令和4年度 補助率をアップ

①中古住宅の購入補助

市外から転入して2年以内の移住者が購入する中古住宅費用を補助

【補助額】取得費用の3分の1（居住誘導区域内：上限60万円／区域外30万円）

②中古住宅の購入と併せたリフォーム工事補助

上記①で購入した住宅のリフォーム工事費用を補助

【補助額】取得費用の3分の1（居住誘導区域内：上限60万円／区域外30万円）

空き家家財処分支援事業 ※令和4年度 新設

中古住宅の流通拡大を促進するため、空き家情報バンクに登録した空き家の家財処分費を補助

【補助額】家財処分費の3分の2（上限10万円）

移住定住応援サイトの実績

平成27年（2015年）5月より公開開始
オオノグラシサイトの名称で主にIターン者向けの情報を発信

令和3年度のPV（見られた数）は過去最高
前年度と比較し、PV数は約1.3倍増

令和3年3月にリニューアル
大野へかえろうサイトに名称を変更し、Uターン者、Iターン者向けの情報を発信

コンテンツ別閲覧先のトップは「空き家情報バンク」
中古住宅への購入や賃貸に興味のある方が多い

年度	H30	R 1	R 2	R3
P V 数	36,174	30,440	43,161	57,783
ユーザー数	5,960	5,830	8,881	11,577





見開き

移住者向けの情報を発信中！

大野に“来て”“見て”“住んで”応援パッケージ

〈問い合わせ先〉

大野市 地域文化部 tel:0779-64-4834

相談・体験 Consultation Experience

移住相談

移住体験

オンライン相談可◎

希望に添った移住体験

大野の自然まるごと体験
エコ・グリーンツアー

渓流のぼり、森で遊ぶ、ラフティング、
スノーレッキング、自転車散歩、川遊び、カヌー等

おおのぐらし交流会

移住者や移住希望者で
困りごとや質問の対応など情報交換 (年2回)

移住支援金

●東京圏型 最大100万円

●全国型 最大25万円

住居 House

お試し滞在

(冷蔵庫、洗濯機、エアコン等の設備あり)

●定住促進住宅<長期用>
(最長1年間)

月 36,800円~

●家んなるハウス

日 3,300円

月 28,000円

空き家探し

(オノグラフィ移住・定住希望サイトなど)

- 空き家物件の情報収集
- 空き家情報バンクの登録
- 空き家の現状状況調査の補助

仕事 Work

ワークステイ(仕事体験)

農業、コーヒー店、古民家カフェ、ゲストハウス等

Uターンを支援

市内会社訪問の
交通費支援

最大14,000円×2回

SEED プロフェッショナル
越前おの

市内にある会社の技術や製品、サービスを紹介する冊子

求人

有効求人倍率 1.55倍
(ハローワーク大野 令和3年2月発表)

子育て Parenting

子育ての相談

- 地域子育て支援センター
(オンライン相談可◎)
- 子育て世代包括支援センター

保育所、認定こども園の見学

保育所(園)	5園(公立4、私立1)
幼保連携型認定こども園	8園(公立8)
幼稚園型認定こども園	1園(公立1)

新規就農者への支援

50歳未満

年間最大160万円
(就農から最長8年)

50歳以上60歳未満
非農家出身者

1年目/月15万円
2年目/月10万円
3年目/月5万円

創業や事業継承する店舗の
新築、改築支援

経費の1/3(女性1/2) (最大100万円)

女性U・Iターン就職応援

市内指定企業へ就職した場合、
引越し費用補助

最大30万円

テレワーク、ネットワーク環境

●レンタルオフィス

月 24,000円~

●コワーキングスペース

カンゲイ賃貸(08/01OPEN予定)

●無料Wi-Fi (観光施設、ショッピングモールVio、商業
施設1Fなど)

大野ですくすく子育て
応援パッケージ

- 不妊治療助成金(無助成に上乗せ)
- 産後ママを応援(家事援助・一時預かり など)
- チャイルドシート購入補助
- 子ども(20歳まで)医療費無料
- 第2子から保育料無料
- インフルエンザ予防接種費用補助
- 第2子以降の在育費死産等相当
- 第3子以降の小学校の給食費無償化

など大野市独自の支援が充実

子どもの急な預かり

- 延長保育:保育所、認定こども園
- 一時預かり:保育所、認定こども園、
デイホームひだまりでい
- 休日保育:富永寺こども園
- 病児デイケア(病児・病後児保育):
病児デイケア「とちのき」

移住前

移住後

大野市の移住・定住の現状と課題

■ 知名度が低い

- ・ 大野市の知名度が全国的に低く、そもそも知らないため選択肢に上がりづらい。

■ 他地域との差別化が図られていない

- ・ 移住者から見て、他の自治体との明確な違いを打ち出せていない。

■ 魅力的な就業先が少ない

- ・ 魅力的な就職先が少ないことから大学生が大野市に帰ってきていない。

■ 都市との距離が遠い

- ・ 主な就職先となる都市まで遠い（1時間）

現状

- ①大野市の知名度が全国的に低く、そもそも知らないため選択肢に上がりづらい。
- ②移住者から見て、他の自治体との明確な違いを打ち出せていない。
- ③魅力的な就職先が少ないことから大学生が大野市に帰ってきていない。
- ④主な就職先となる都市まで遠い（1時間）



大野市と出会う機会を増やす

【ポイント①：ファンを増やす】

- ・気になっている人に大野市の情報を届ける（w e b 広告の活用）
- ・他の自治体と比べて大野市が選ばれるしかけ作り（暮らす魅力、理由作り、大野市のブランディング）
- ・大野市に訪れやすい機会・場所を増やす（訪問機会の創出（観光）、長期滞在型宿泊施設の創出）
- ・訪れた人が思い出作りできる機会・場所を増やす（人が集まる場所・機会を創出）

【ポイント②：利便性・実用性の改善】

- ・働く場所の確保と働き安さ（企業誘致、起業支援、二次交通の改善、リモート環境の整備）
- ・子育てしやすさ（朝晩の延長保育、放課後児童保育の延長）
- ・住む場所の確保（空き家の活用、ファミリー向け賃貸物件の拡大）
- ・暮らしやすさ（公園や自然と親しめる環境、徒歩圏内の生活のしやすさ）

【ポイント③：ターゲットの明確化】

- ・主なターゲットをどこにするか？（Uターンの改善、都市圏からの移住（シルバー、若年層））
- ・ターゲットにとって魅力的な要素を積み重ね、他の自治体との差別化と強みを図る必要がある

大野市と交流する機会を増やす

大野市での生活環境を整える

現状分析

①移住定住データ分析

- ・大野市及び福井県の移住定住の相談件数実績共に増加傾向にある。
- ・コロナウイルスによる地方のニーズの高まりから三大都市圏からの移住・定住が特に増加している。
- ・大野市においても社会増減率はマイナス幅が縮小傾向にあるが、プラスにまではいたっていない。
- ・移住希望者から見た明確な魅力やポイントを打ち出すにいたっていない。

②SWOT分析

強み

- ①恵まれた自然環境
- ②趣ある城下町
- ③白山が育んだ水と食
- ④人懐こい市民性
- ⑤ゆったりとした空間

弱み

- ①若者が買い物できる店がない
- ②子供が楽しめるアトラクション施設がない
- ③二次交通がよくない
- ④冬の除排雪が負担になる

機会

- ①中部縦貫自動車道開通
- ②北陸新幹線延伸
- ③コロナウイルスによるゆったり過ごせる場所へのニーズの高まり

脅威

- ①自治体間の競争激化
- ②人口減少社会
- ③コロナウイルスによる交通事業者の弱体化

【大野市の移住定住コンセプト】

日常が心地よいまち

構成要素：①無料のミネラルウォーターで生活できる②趣ある城下町と四季の美しさを体感できる

③ゆったりとした空気がながれる風土④人なつこい市民性⑤適度な暮らしやすさ

【移住定住拡大ターゲット】

20代～40代子育て世代



【ファンを増やす】

- ①ターゲットに大野市の情報を届ける
- ②ターゲットに大野市が選ばれるしかけ作り
- ③大野市に訪れやすい機会・場所を増やす
- ④訪れた人の記憶に残る機会・場所を増やす



【利便性・実用性の改善】

- ①働く場所の確保と働き安さ
- ②子育てしやすさ
- ③暮らしやすさ

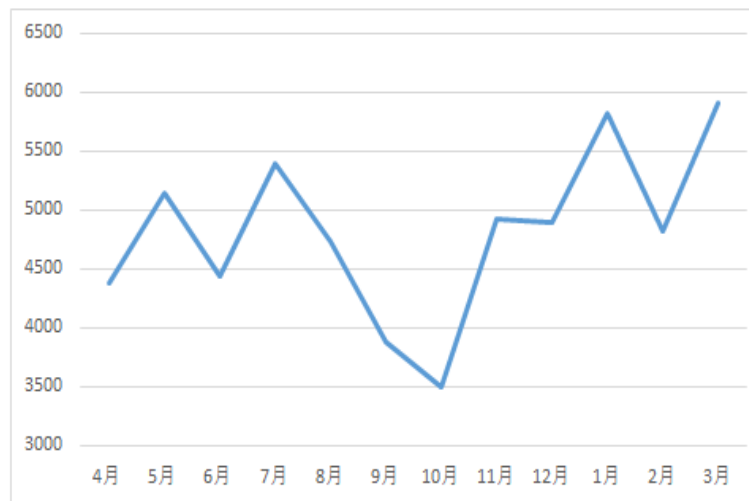
★移住定住応援サイトの分析

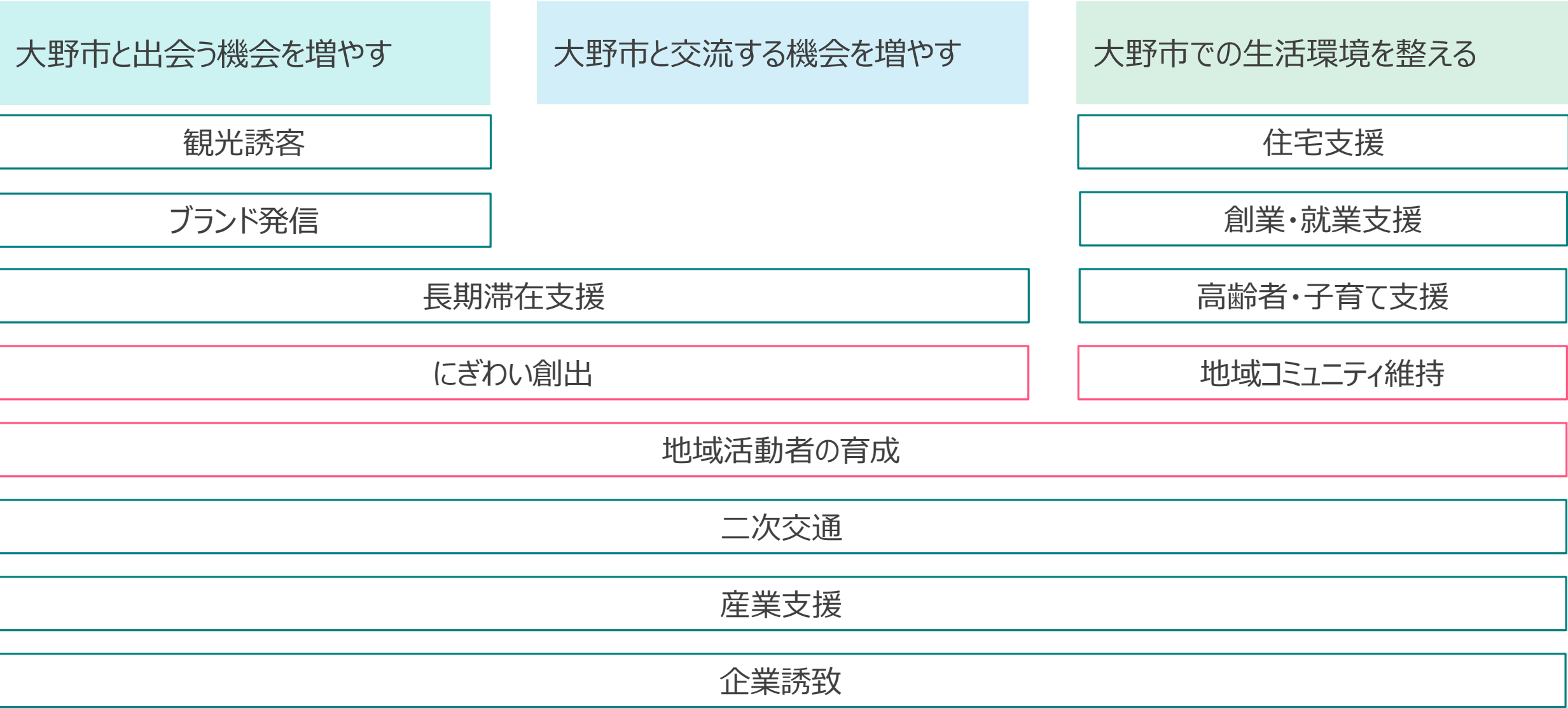
性別：男性約58%, 女性約42%

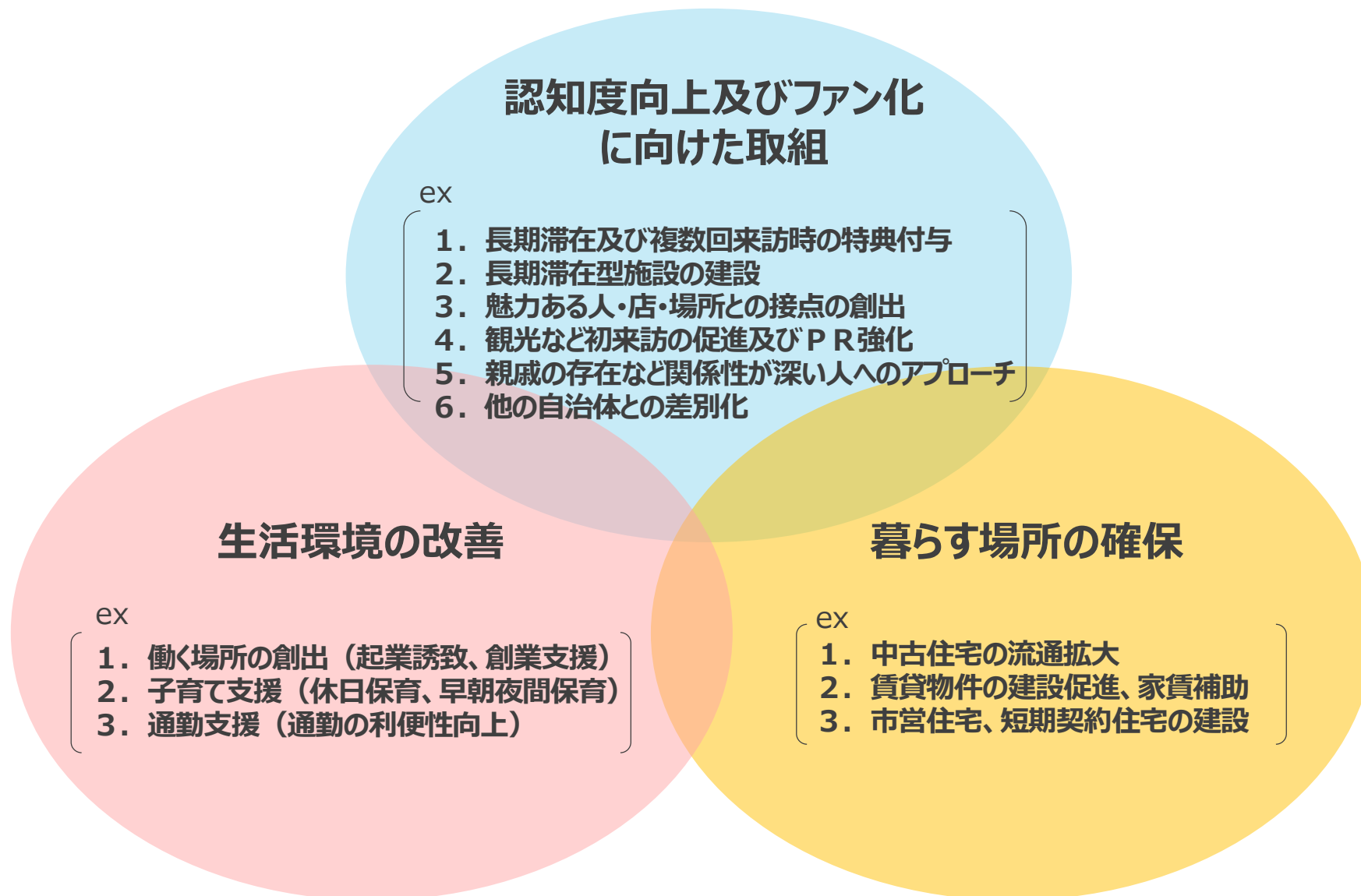
年齢層：35-44歳28%, 25-34歳約25%, 45-54歳18%

主なエリア：県内約49%（内訳：福井市42%, 敦賀市約14%, 越前市約9%, 不特定31%）

県外約51%（内訳：関東約37%, 関西約31%, 東海約20%, その他12%）







大野市の移住・定住を促進するためのアイデア出し

移住の関心を高めるための情報発信方法

移住関心層の頻繁な訪問、長期滞在につなげる方策

移住者の生活環境を向上させる方策（仕事、住まい、子育てなど）